

科目名	経済学Ⅰ	担当者	竹本 亨	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
				授業時間数	90分×15回		必修選択	政経新聞 公共政策	

【関連するDP・CP】 (DP＝ディプロマ・ポリシー：学位授与に関する方針) (CP＝カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成・実施に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
	○	○	○	○				

【授業の概要】
経済社会の仕組みを理解し、さらに、社会で生起する様々な社会現象とくに経済現象にアプローチするための経済学の基礎理論を学習する。経済学理論は大きくミクロ理論とマクロ理論に分類することができるが、この講座では主に消費者(家計)、企業の行動分析に関するミクロ理論を学習し、市場の需要曲線と供給曲線を導出し、市場における価格決定の理論を学習する。

【授業の目的】(General Instructional Objective:GIO 一般目標)
中級・上級科目および発展科目の履修のために必要となる経済学の基礎理論の修得を目的とする。現代社会で生じる様々な経済現象にアプローチするための基礎的知識を修得するとともに、ミクロ・マクロ経済学や財政学、公共経済学、国際経済学といった応用経済学の理解を深めるために、初級の経済理論を修得し、社会で生じる価格決定や価格変動について受講生が説明できることを目標とする。

【履修条件】
特になし。

【授業方法】
講義形式で行う。基本的に教科書に従って授業は進む。授業後のノートの整理が必要である。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	無
アクティブ・ラーニングの形態	

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives:SBOs 個別行動目標)												
ルーブリック評価項目の内容	A-1	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観			A-5	挑戦力						
	A-2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力			A-6	コミュニケーション力						
	A-3	論理的・批判的思考力			A-7	リーダーシップ・協働力						
	A-4	問題発見・解決力			A-8	省察力						
達成されるべき具体的行動					関連するルーブリック評価項目の達成レベル							
					A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
①	日本が直面する経済的問題を把握し、理解することができる。				1	1	1	1				
②	経済に関する学問的知識を基に、社会現象を科学的・論理的に分析できる。				1	1	1	1				
③	経済問題に対する解決策を提案することができる。				1	1	1	1				
④	よりよい社会の創造に向けて、経済的問題の解決に果敢に挑戦することができる。				1	1	1	1				
⑤												
⑥												
⑦												
⑧												
⑨												
⑩												

【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の 比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験／ 授業内試験)	到達目標①②③④について、経済学の基礎理論が修得できているかを評価する。	10	25	25	10							70
小テスト等	到達目標②③について、経済学の基礎理論が修得できているかを評価する。		15	15								30
レポート等												
討論・発表等												
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		10	40	40	10							100

【課題に対するフィードバックの方法】
小テストの解答と解説を、Google Classroomにて配信する。試験については次回授業で解説を行う。

【教科書・参考書等】					
書 名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
経済学入門 第2版 (Next教科書シリーズ)	楠谷清・川又祐	弘文堂	2019	教科書	必携
備考					

【オフィスアワー】
水曜日 12:10～12:50（休暇中を除く。必ずその週の月曜日までにメールでアポイントメントを取ること）研究室（4号館5階451研究室） メールアドレス（takemoto.toruとアットマーク以下はNUメールアドレス（nihon-u.ac.jp））

【実務経験を活かした実践的教育について】			
担当教員の実務経験の有無	無	実務経験の内容	
実務経験に基づく実践的教育の内容			

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。				
回数	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション及び導入講義	講義の方針や内容の他、成績評価方法の概要について説明を行う。受講を希望する学生は必ず出席するように。 さらに、導入として以下について講義する。 ・経済学とは ・経済学の特徴		
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、セメスター内の講義の全体像を把握すると共に、経済学を学ぶ意味と意義を認識できる。		
	事前学修	このシラバスを確認して、セメスター中の講義内容の全体像を把握する。		120分
	事後学修	ガイダンス・講義内容を再確認すると共に、この時点で可能であれば教科書を入手の上、全体の流れを把握しておく。		120分
2	経済学への扉	・経済学のあゆみ ・数学的準備		
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連して、経済学の歴史について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「経済学の歴史」と「ミクロ経済学に必要な数学」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
3	消費者行動(1)	・消費者行動 ・効用関数と無差別曲線		
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、効用関数と無差別曲線について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「効用関数」と「無差別曲線」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
4	消費者行動(2)	・最適消費の決定		
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、最適消費の決定について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「予算制約線」の概念と「最適消費の決定」の理論を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
5	消費者行動(3)	・需要曲線の導出		
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、需要曲線の導出について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、価格と所得が変化した場合に、それぞれ需要関数がどのように変化するかを理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
6	生産者行動(1)	・生産者行動 ・生産関数と費用関数		
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、生産関数と費用関数について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「生産関数」と「費用関数」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。				
回数	テーマ		内 容	
7	生産者行動(2)		・利潤最大化と最適生産の決定	
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、利潤最大化と最適生産の決定について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「利潤最大化条件」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
8	生産者行動(3)		・供給曲線の導出	
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、供給曲線の導出について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「損益分岐点」と「操業停止点」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
9	市場と社会的厚生(1)		・競争市場	
	この回の到達目標	到達目標②③④に関連して、競争市場とその市場均衡について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「競争市場の条件」と「市場均衡」、「超過需要」「超過供給」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
10	市場と社会的厚生(2)		・余剰分析	
	この回の到達目標	到達目標②③④に関連して、社会的余剰について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「消費者余剰」と「生産者余剰」、「社会的余剰」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
11	市場と社会的厚生(3)		・独占市場	
	この回の到達目標	到達目標②③④に関連して、独占企業の行動と独占市場の社会的余剰について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「独占企業の行動」と「独占市場の社会的余剰」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分
12	ゲーム理論(1)		・ゲーム理論とは ・戦略形ゲーム ・支配戦略均衡	
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、ゲーム理論と戦略形ゲーム、支配戦略均衡について説明できる。		
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「戦略形ゲーム」と「支配戦略均衡」を理解するように努力すること。		120分
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。		120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容
13	ゲーム理論(2)	・支配戦略均衡の限界 ・最適反応戦略 ・ナッシュ均衡
	この回の到達目標	到達目標②③に関連して、ナッシュ均衡について説明できる。
	事前学修	教科書の該当ページを読み、その内容を大まかに理解し、疑問点をまとめる。特に、「支配戦略均衡の限界」と「最適反応戦略」、「ナッシュ均衡」を理解するように努力すること。
	事後学修	ノートを整理して、学んだ概念と理論をまとめ、出題された問題演習等に取り組む。
14	試験と振り返り	ここまでの内容の確認
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、消費者行動と企業行動、市場と社会的厚生、ゲーム理論について総合的に説明できる。
	事前学修	教科書の1章から5章までを読み直して、その内容を理解する。
	事後学修	試験の内容を復習する。
15	試験の解説と総括	ここまでの内容の確認と後期の経済学Ⅱに向けて
	この回の到達目標	到達目標①②③④に関連して、消費者行動と企業行動、市場と社会的厚生、ゲーム理論について総合的に説明できる。
	事前学修	前回の試験問題を中心に、教科書の1章から5章までを読み直して、その内容を理解する。
	事後学修	半年間の授業内容を総復習する。